

第1回学校評議員会 記録

令和7年6月24日（火）

100周年記念館

出席者	学校評議員	下島聡様	池上篤様	屋良朝彦様	高橋茂正様
	本校出席者	吉岡校長	傳村全日制教頭	渋谷定時制教頭	清水事務長
		（敬称略）	吉沢	小野沢	竹松
			市瀬	北沢（珠）	河合
				北澤（悠）	佐竹

1. 開会の言葉

定時制教頭からあいさつ

2. 委嘱

3. 校長挨拶

- ・令和7年度の学校の様子
- ・令和11年度の赤穂総合学科新校の開校に向けて準備
- ・学習にも部活動にも頑張っている。県大会へ進んだ部活動も多い。さらに上位の大会へ進む生徒もいる

4. 自己紹介

5. 本校の概況について

（1）全日制の取り組みについて

① 学校評価について（全日制教頭）

- ・令和7年度も前年度を踏まえて学校教育目標を設定
- ・生徒が安心して学習を進めることのできる環境づくりを進めていきたい

② 進路指導より（進路指導主事）

- ・6月10日 進路の日を実施
- ・進路先、合格先一覧の説明
- ・今年度の傾向について説明

③ 生徒指導より（生徒指導主事）

- ・4月当初に自転車事故あり
- ・外から見えないだけに特にSNSのトラブルが心配される。

④ 生徒会より（生徒会主任）

- ・生徒会三役は赤穂中学校の卒業生 校内の様々な活動を積極的に行っている。

- ・部活動の加入率が高い 特に2年生
- ・第64回鈴蘭祭について 今年度は土日で一般公開

⑤ 商業科より（商業科主任）

- ・令和6年度の進路状況
- ・満足度調査の結果
- ・令和6年度入学生アンケートについて
- ・生徒の主体的な学びを重視 カレースパイスや栗のお菓子など様々な取組
- ・8月のインターンシップでは、地元の企業の皆様にご協力いただく

⑥ 各学年より

【1年生】

- ・大きな心配事もなく、新しいスタートが切れた
- ・落ち着いて学習を進めている
- ・フェンシングなど、これまでのチャレンジを継続していく生徒もいる

【2年生】

- ・学年全体として落ち着いている
- ・修学旅行は関西方面へ。探究的な学びを行う計画。

【3年生】

- ・部活動が一区切りついていくなか、文化祭準備などに取り組んでいる
- ・生徒たちは進路実現に向けて努力してほしい
- ・落ち着いた学校生活を送れている

（2）定時制より

- ・幅広い年齢層の生徒がいる
- ・生徒1人1人に寄り添った指導を行っている
- ・生活体験発表大会という行事を行っている。全国にもつながる大会である。

2. 意見交換

学校評議員より

- ・卒業した中学校を訪ねてくれる生徒、町で行き会った（中学校の）卒業生が「充実した学校生活」を話してくれる。部活動でも、学習に関しても。それはとてもうれしいことだ。
- ・SNSに関するトラブルについては中学校も心配しているところだ。
- ・地元の企業で働く卒業生が多い。地域、地元企業を支える人材を育てる学校になっている。

- ・部活動の活躍もうれしい。地元企業としてさまざまなサポートができればいいと考えている。
- ・地元の企業について、もっと知ってもらいたい。また、「ものづくり」に興味のある生徒を育ててほしい。そこに向けて協力できることがある。
- ・駅から学校まで多くの生徒が通学してくが、大きな困りごとはない。中心道路ではない、細い路地をつかって通っている生徒もいる。
- ・地区内に街頭のない道路もある。果樹園との関係で設置できないが、気を付けて通行してほしい。
- ・学校の文化祭当日は地区のお祭りとも重なる。双方で人が行き来できるようだと良い。
- ・地区は少子高齢化が進んでいる。地区の人たちと高校生がコミュニケーションをとりながら一緒に何かできるといいと思う。
- ・全国的に看護系専門大学は全体として定員割れしている。赤穂高校の卒業生は近年進学してきていないが、印象はとてもいい。看護の道に進みたい生徒には、県看護大学も選択肢に入れてほしい。
- ・高大連携、産学官連携ということにも力を入れてほしい。

3. その他、閉会の言葉

評議員の方からいただいた助言を教育活動に活かしていきたい

以上